

伊方町議会第71回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
末光 勝幸 議員	1 人口減少対策について	町 長
質問の要旨		
<p>新聞報道によりますと、今から約40年後の2060年には、伊方町の人口は1,898人になると推計されているようです。2020年に比べ減少率77.4%と、県下の減少となる見込みです。また、15歳から29歳の人口が伊方町は84人と推計されています。</p> <p>令和2年の6月定例会におきましても「少子化対策について」一般質問させていただきましたが、合併当初13,095人であった人口が現在8,448人（10月末）になっています。伊方町第2次総合計画の後期基本計画によりますと2060年には5,000人程度の人口を展望しており、計画より2分の1以下の推計がなされております。</p> <p>伊方町において、様々な人口減少対策が講じられていると認識していますが、町民によく知られていない部分もあります。改めてどのような人口減少対策がなされているかを伺います。</p> <p>平成27年3月、第40回定例会におきまして、当時の山下町長は、「このまま人口が減少し、将来町が消滅するような事態を深刻に受け止めざるを得ない状況にある今日、この合併から10年というタイミングにおいて、思い切ってこれまでの考え方を切り替えて、必要な行動を起こさなければ、取り返しがつかない状況に陥ることになります。そのことを職員一人ひとりが真剣に考え、向き合い、地域の声や要望を的確に捉えて住民福祉の向上につなげていく必要があります」このように挨拶されています。</p> <p>他の市町村に比較すると、手厚い人口減少対策・福祉対策が講じられているように思いますが、それでも県下人口が減少していくことは、地理的な要因があったとしても、伊方町の魅力が乏しいということが言えるのではないのでしょうか。</p> <p>伊方町に住みたくなる魅力の創造が大切だと考えますが、町長は伊方町の魅力は何と捉え、どう創りあげていくのかを伺います。</p>		